



市議会だより

No.248

編集者 木村 裕
池淵佐知子・和田 学
坂口 妙子・塩見みゆき

発行所
吹田市泉町1丁目3番40号
吹田市議会事務局
代表電話 06-6384-1231
直通電話 06-6384-2696



市内の産業振興を目指して開催される吹田産業フェア
(昨年の様子 今年(2009年)は5月9日(土)、10日(日)に市役所駐車場等で開催)

3月 定例会

総額1975億円 21年度予算を可決

市民意見の提出(コメンツク)条例を制定

3月定例会が、3月4日から27日までの会期で開かれました。市長から提出された平成21年(2009年)度の当初予算は、一般会計1099億円をはじめ、水道・病院会計及び9特別会計をあわせて総額1975億円となっています。また、市民意見の提出に関する条例や産業振興条例など、19件の条例案が提出されました。

主な議案は各委員会に付託されましたが、一般職の任期付職員採用に関する条例案と職員定数条例の一部改正案については、審査の過程で市長から議案が撤回されました。それに伴い、平成21年(2009年)度の一般会計当初予算及び補正予算は、これらの条例関連予算の減額など一部修正して可決されました。撤回された条例案を除く他の議案は、すべて可決されました。

予 算

1 一般会計
平成21年(2009年)度一般会計当初予算は1099億5868万円で、前年度比4.1%の増となっています。

新年度の主な事業とその経費は、市民センター等の開館日数の増加に655万円、留守家庭児童育成室の開室時間延長と開室日数の増加に6068万円、長寿医療健診受診者に心電図や貧血検査などを追加して実施する事業に2110万円(仮称)千里山竹園児童センターの建設に1億6631万円、北工場の建て替え事業に107億7272万円、東部拠点のまちづくり事業に5億5078万円、千里南地区センター交通広場建設等に7億3020万円、小・中学校の校舎、屋内運動場の耐震改修に8億3302万円、青少年野外活動センターの再整備に1247万円、山田駅前(仮称)青少年拠点施設を整備する事業に4億8507万円、市民体育

主 な 条 例

市民意見の提出条例
市が重要な政策等を定めるにあたり、あらかじめその案に対する市民の意見の提出を求めるものです。

産業振興条例
産業振興に関する基本理念や施策の方針を定め、市事業者、経済団体等及び市民の役割を明

単 行 事 件

花とみどりの情報センターの指定管理者の指定
施設の管理を行う指定管理者の指定を行うもので、指定の間は、平成21年(2009年)4月1日からの5年間で、

国民健康保険、介護保険など9特別会計の当初予算の総額は677億5716万円で、前年度比4.7%の減となっています。

契 約 の 締 結

公共下水道事業十三高槻線公共下水道施設移設工事川面排水区第一工区(2億5656万円)

人 事

3月定例会では、次の方々の選任に同意しました。
教育委員会委員(任期4年) 箕面市半町3丁目5番C-513号 鈴木 直氏
公平委員会委員(任期4年) 豊中市緑丘3丁目1番14-408号 野呂 充氏

改正に伴い、介護保険第2号被保険者の介護納付金賦課限度額を、これまでの9万円から10万円に改定するものです。

介護保険条例の一部改正
平成23年(2011年)度までの3年間にわたる第1号被保険者に係る保険料段階を7区分から13区分に細分化するとともに、保険料率を改定するものです。(賛成多数で可決)

(審査内容の一部は4面に掲載)

議 会 日 誌

12月定例会閉会後の主な議会活動は、次のとおりです。

【1月】
21日 議会だより編集委員会
30日 議会運営委員会

【2月】
17日 吹田操車場等跡地利用対策特別委員会
18日 都市環境整備対策特別委員会
25日 議会運営委員会

【3月】
4日 本会議 議会運営委員会
11日 本会議 議会運営委員会
12日 本会議
13日 本会議 議会運営委員会
16日 本会議
17日 常任委員会(財政総務、文教市民、福祉環境、建設)
18日 常任委員会(財政総務、文教市民、福祉環境、建設)
19日 常任委員会(財政総務、文教市民、福祉環境、建設)
23日 常任委員会(財政総務、文教市民、福祉環境、建設)
25日 建設常任委員会
26日 議会運営委員会
27日 本会議、議会運営委員会、財政総務常任委員会

撤 回 さ れ た 請 願

3月定例会では、市民から請願1件が提出され、本会議に提案されましたが、請願者から撤回願が提出され、承認されませんでした。

中小零細企業と住民生活を守る対策を求める請願
す。そのうち国保会計は330億6352万円で4.3%の増、介護保険会計は165億6935万円で3.6%の減となっています。

水道事業会計は83億9465万円で前年度比8.5%の減、病院事業会計は113億9386万円で2.9%の増となっています。

採 取 請 願 の 処 理 報 告

12月定例会で採択した請願2件について、市長から処理結果の報告がありました。

吹田市立片山中学校へのエレベーター設置に関する請願
片山中学校でのエレベーター設置は、必要度が高いものと考えており、今回の請願について重く受け止め、今年度の設置に

千早山地区に地区計画を設定する請願
地区計画、景観形成地区指定等の手法を活用し、地権者と一体となり、まちのルール化を図ってきたい。また、千里山駅周辺地域においては、住民が主役となり、地区の実情に応じたまちのルール化を協議してもらい、まとまった段階で地区計画等の法制化を図ってきたい。

代表質問から

3月11日、12日に各会派を代表して6人の議員が代表質問を行いました。質問と答弁の一部をお伝えします。なお、このほか16人の議員が個人質問を行いました。その内容は後日作成される会議録をご覧ください。会議録は市役所の情報公開課をはじめ、図書館や地区公民館等に備えており、市のホームページでもご覧になれます。

改定される介護保険料 基金を取り崩して軽減を図れ

(日本共産党)

問 本年4月から介護保険料が改定され、保険料段階が7区分から13区分に細分化される。低所得者の負担が増えないよう、基金の全額取り崩し等により、保険料の据え置きや軽減を図れないのか。

答 福祉保健部長 本年3月末時点での同基金見込み残高は5億5000万円であるが、このうち4億円を取り崩すことで保険料を軽減し、残りの1億5000万円は、給付費の増加等の不測の事態に対応する費用に充てたいと考えている。

環境世界都市の実現 積極的環境施策の実施を

(すいた市民自治)

問 今後、新規事業に取り組む際は、ライフサイクルコストの考え方や環境リスクマネジメントの観点から、環境リスクを最小にすることを考慮した事業手法とすべきではないか。

答 環境部長 事業実施にあたっては、製造から使用、管理までのプロセスの総合的な管理に着手しており、今後は環境配慮設備の導入の方策を検討していきたい。また、本市独自の環境影響評価条例に基づき、環境への影響を予測し、科学的、専門的に評価することで、大規模開発事業の環境リスクを可能な

妊婦健康診査の公費負担 拡充内容について聞く

(公明党)

問 妊婦健康診査の公費負担回数を拡充しようとしてきたが、本年4月よりこれまでの6回から妊娠期間中望ましいとされる14回に拡充される。健診費用と対象人数、追加となる検査項目について聞きたい。

答 福祉保健部長 14回受診した場合の一人当たり公費負担総額は5万8300円、対象者は32000人を見込んでいる。新たな検査項目としては、C型肝炎、HIV、風疹ウイルスの抗体検査や、早産を引き起こすなどの可能性があるB群溶血性レンサ球菌の検査を追加する。

教育関係事業の拡充 臨海学習の充実を

(民主市民連合)

問 大阪府が出張旅費を大幅に削減しており、臨海学習の存続に危機感を感じている。本市の小学校教育において古い歴史があり、泳力日本一と誇れる成果の一つである臨海学習を実施する意義は非常に大きいと考えますが、その意義や予算面での支援策についてどう考えているのか。

答 教育長 体験活動や宿泊を伴う活動は、児童、生徒の社会性や豊かな心を養う上で、規範意識を身に付ける上で教育効果は大きい。とりわけ臨海学習は、最後まで全力を出しきる力を育成する、すばらしい体験であり、子どもたちも懸命に取り組んでおり、今後も支援していきたい。

また、多くの若い教師が配置されている今こそ臨海学習の充実を図るべきではないか。

答 教育長 体験活動や宿泊を伴う活動は、児童、生徒の社会性や豊かな心を養う上で、規範意識を身に付ける上で教育効果は大きい。とりわけ臨海学習は、最後まで全力を出しきる力を育成する、すばらしい体験であり、子どもたちも懸命に取り組んでおり、今後も支援していきたい。



遠泳に挑む吹田第三小学校の子どもたち(丹後半島)

政府等意見書

次の意見書案4件を可決し、政府等に送付しました。
「協同労働の協同組合法(仮称)」の速やかな制定を求める意見書

協同労働の協同組合は、市民主体のまちづくりを創造し、働くことや生きることの困難を抱える人々自身が、社会連帯の中で仕事を興し、社会に参加する道を開くことができる。就労の創出、地域の再生、少子・高齢社会に対応する有力な制度として、協同労働の協同組合法の速やかな制定を要望する。(全員賛成)

「緑の社会」への構造改革を求める意見書

次年度の項目の実現を強く要望する。①環境産業に3年間で10兆円規模を投資し、今後5年間で100兆円の市場規模、200万人超の雇用を実現すること②再生可能エネルギーの1次エネルギー構成率20%を目指し、全小・中学校への太陽光発電導入、家庭設置の補助拡大に取り組みこと③次世代自動車普及を急ぐとともに、公共交通機関の活性化への支援を大幅に拡充すること④省エネ住宅等の建設、改修を大規模に促進し、環境モデル都市の対象を拡大するなど、更なる国の支援を拡充すること⑤温室効果ガス排出削減3・8%の実現に向けて、森林整備を進め、関連業種で新たな雇用を創出すること⑥バイオ燃料事業の拡大強化によって地域の特性をいかした活性化を図り、バイオマスタウン300地区を早期に実現すること⑦国民生活部門における温室効果ガス排出削減のための活動を支援すること。(全員賛成)



障害者自立支援法の見直しを求める意見書

次の事項を強く要望する。①障害者自立支援法の見直しに当たっては、介護保険制度との統合を前提とせず、障がい者施策として在るべき仕組みを検討すること②利用者負担については、現行の水準を継続し、新たな考え方にに基づき法規定を見直すこと③新体系への移行が円滑に進まない状況を踏まえ、施設利用要件を抜本的に見直すこと④発達障がいや高次脳機能障がい自立支援法の対象となることを明確化し、障がい程度区分も、障がい特性を反映するものに見直すこと⑤地域生活支援事業について、障がい者の地域での暮らしに不可欠な事業は自立支援給付とし、移動支援やコミュニケーション支援を充実すること⑥福祉的就労分野の利用者負担解消について、関連施策を含め議論を深めること。(賛成多数)

生活保護受給者数の急増 不正受給対策の取り組みを

(吹田新選会)

問 昨年来の不況の影響もあり、生活保護受給者数が急増している。受給者のサポートが十分できるような体制の充実を図るべきではないか。

答 福祉保健部長 現在本市のケースワーカーは27名で、一人当たり119.5世帯を担当し、国の配置基準を大きく上回っている。平均年齢は31.4歳で、人生経験の面

から対応が難しい場合も想定されるが、職場研修等を通じてその充実を図ってきたい。

問 本日に生活保護を必要とする方に給付ができるよう、不正受給防止に向けた取り組みを厳格に行うべきではないか。

答 同 不正受給対策として、収入申告の必要性を徹底し、家庭訪問による実地調査、主治医訪問による病状や働くことができるかどうかの確認、年金や手当の受給権確認等を実施しており、特に働くことができる能力があると判断されながら求職活動を十分に行わない場合には、文書指導等厳しい対応をしている。対応が困難なケースには、査察指導員が同行訪問するなど、組織的な対応を行っている。



14回に拡充される妊婦健康診査

人生観や職業観を養う教育 本市独自の取り組みを

(自由民主党)

山口県萩市の明倫小学校では、吉田松陰について学ぶことで、子どもたちが故郷に誇りを

問 山口県萩市の明倫小学校では、吉田松陰について学ぶことで、子どもたちが故郷に誇りを

答 教育監 本市では独自の教育として、



授業風景(山田第五小学校)

より、総合的人間力の育成を目指す。また、キャリア教育や国際理解教育、環境、情報等の現代的な課題について、小中一貫教育の枠組みの中

り立ちに気づき、議論することが必要ではないか。

問 命の大切さや食事ができることへの感謝の気持ちを学び、また、さまざまな職業を通して世の中の成

答 市長 後援会の活動について、二つの政治団体が政治資金規正法違反の企業献金を行っていたことが報道された。残念ながら本市の市長も、100万円のパーティー券購入という形で資金提供を受けたことが判明し、マスコミをはじめ市民の大きな関心事となっている。当該団体によるパーティー券購入の経緯や、これまでの西松建設とのかかわりなどについて、真相を明らかにするべきではないか。

西松建設問題について

真相を明らかにせよ

(日本共産党)

問 西松建設のタミー団体として、二つの政治団体が政治資金規正法違反の企業献金を行っていたことが報道された。残念ながら本市の市長も、100万円のパーティー券購入という形で資金提供を受けたことが判明し、マスコミをはじめ市民の大きな関心事となっている。当該団体によるパーティー券購入の経緯や、これまでの西松建設とのかかわりなどについて、真相を明らかにするべきではないか。

た。その処理は政治資金規正法に基づき、収支報告等適切に行っており、問題はないと確信している。また、これまでに西松建設社員との接触など疑義を持たれるようなことは一切ない。今後、法務局への供託を含め、返還を検討するなど、市民や市議会の心配をふっしょくすべく速やかに対処したい。

今後の保育制度の検討に係る意見書

次の事項を強く要望する。①今日までの保育制度が果たしてきた役割を踏まえ、今後の在り方の検討に当たっては、実施責任を持つ自治体及び保育団体との意見交換を十分行い、理解を得ながら進めること②新たな保育の仕組みを検討する場、子供の最善の権利を守る観点から、量の確保とともに質の担保が必要不可欠である点を踏まえること③保育需要の飛躍的増大、多様化が予想される中で、次世代育成支援策を拡充するための安定財源を確保すること④認可外施設や認定こども園などへの支援策を強化すること⑤今後の利用促進を図るため、保育料の負担軽減を検討すること。また、安易に負担金の徴収を現場の保育所にゆだねることがないよう配慮すること。(賛成多数)

広範囲な民生・児童委員の活動 今後のあり方を示せ

(民主市民連合)

問 近年、多様化する地域課題に対応した新たな制度等が増え続ける中で、地域福祉の担い手である民生・児童委員に求められる役割が、子育て支援や災

害時の要援護者支援など広範囲に及んでいる。また、個人情報保護法の制定などにより、訪問活動が制約されるなど難しい課題も生じている。このような活

動状況を踏まえ、民生・児童委員の今後のあり方について聞きたい。

答 民生・児童委員の活動は、簡易な日常生活、子どもの地域生活、介護などの在宅福祉サービスなどに関する相談や支援が主なものであるが、子ども見守り家庭訪問事業等の子育て支援施

定額給付金等の早急な給付を 詐欺被害の防止に取り組み

(公明党)

問 定額給付金及び子育て応援特別手当の給付に向けた取り組み状況を聞きたい。また、給付金等の申請書に同封する説明書は、詐欺被害への注意喚起を含め、絵や大きな文字を使った見やすい内容にすべきではないか。

答 自治文化にぎわい総括監 定額給付金等については、正

問 同時期に発行する地域商品券の発行を含め、定額給付金等の給付に対する期待について、市長に聞きたい。

答 市長 定額給付金等の給付と地域商品券の発行により、景気高揚と生活支援が図られ、

要望・陳情

12月定例会閉会後、次の要望・陳情書が提出されました。「協同労働の協同組合法(仮称)」の速やかな制定を求める意見書に関する陳情書 議会への天皇陛下御即位二十

常任委員会の審査から

各委員会に付託された条例案、予算案などのうち、主な議案について、審査した内容の一部(主な質疑項目、意見の概要)をお伝えします。

財政総務

一般会計予算中所管分(賛成多数で承認)

社会情勢を踏まえた市制施行



北消防署

点配分

賛成意見の概要

1 財政規律を高め、行政サービスの需給量を適切に定めること

反対意見の概要

1 厳しい財政状況の中、

平成21年(2009年)5月定例会日程案

5月定例会は、次の日程で開催する予定です。定例会の日程案は、5月上旬に開催される予定の議会運営委員会で内定しますので、詳細は議会事務局(直通電話6384-2696)までお問い合わせください。

- 5月12日(火) 本会議(提案説明)
- 19日(火) 本会議(代表質問)
- 20日(水) 本会議(代表質問)
- 21日(木) 本会議(質問)
- 22日(金) 本会議(質問)
- 25日(月) 委員会
- 26日(火) 委員会
- 29日(金) 本会議(討論・採決)
- 6月2日(火) 本会議(役員改選)
- 3日(水) 本会議(役員改選)

市議会だよりは、一部の表記を除き、NHK放送文化研究所編集の用字用語辞典に基づいて作成しています。

文教市民

市民意見の提出条例

(全員賛成で承認)

＜主な質疑項目＞

市民参画による政策立案という条例の趣旨を適切に周知する必要性

インターネットを余り利用しない市民への情報伝達の工夫

氏名を明らかにして意見を提出することの妥当性

出する意志のある市民に対しても提出用紙に氏名欄を設けないことの問題点

＜意見の概要＞

条例の趣旨は評価する。情報弱者を生み出さない方策や、より市民参加が図られることを要望する。

＜主な質疑項目＞

男女共同参画センターにおける購入図書を選定基準

市内の観光資源の一般誌への掲載など、広報施策の必要性

職業体験等支援事業の促進

35人学級実施校の現場の意見及び全校実施に向けた見直し

＜意見の概要＞

教育機関と連携した具体的な産業振興条例

＜主な質疑項目＞

児童会館条例の一部改正

＜意見の概要＞

千里山竹園児童センターに指定管理者制度を導入する理由及び既存の児童会館への同制度導入に向けた検討

＜意見の概要＞

指定管理先の地域団体に過度の負担が掛からないようにされたい。利用者に対する公平な運

＜意見の概要＞

及びその人員体制
紫金山公園に建設を予定しているヒジターセンターの整備構想に関する予算配分の考え方及び市民参加手法の問題点

＜賛成意見の概要＞

1 子どもや保護者に直接恩恵がある事業を充実させるとも、施設の施設にあたっては既存施設の維持費削減や廃止を検討の上、予算運営を考えられたい。

2 市長部局と教育委員会が連携を密にすることの重要性を認識されたい。職業体験や臨海学習などの体験学習をいっそう充実されたい。

＜主な質疑項目＞

男女共同参画センターにおける購入図書を選定基準

市内の観光資源の一般誌への掲載など、広報施策の必要性

職業体験等支援事業の促進

35人学級実施校の現場の意見及び全校実施に向けた見直し

＜意見の概要＞

児童会館が子どもたちにより良いものとなるように取り組まれない。

＜意見の概要＞

児童会館条例の一部改正

＜意見の概要＞

千里山竹園児童センターに指定管理者制度を導入する理由及び既存の児童会館への同制度導入に向けた検討

＜意見の概要＞

指定管理先の地域団体に過度の負担が掛からないようにされたい。利用者に対する公平な運

＜意見の概要＞

児童会館が子どもたちにより良いものとなるように取り組まれない。

＜意見の概要＞

児童会館条例の一部改正

＜意見の概要＞

児童会館が子どもたちにより良いものとなるように取り組まれない。

＜意見の概要＞

児童会館が子どもたちにより良いものとなるように取り組まれない。



千里山・佐井寺図書館

3 市民参加のあり方について、紫金山公園運営協議会の方式を前例とせず、自治基本条例の原点に立ち返った上で今後考えられたい。

＜反対意見の概要＞

旧同和事業の一般施策への移行が不十分な点や、観光センター設置の必要性が理解できない点などがあり、賛成できない。

＜意見の概要＞

一般会計補正予算中所管分

＜意見の概要＞

定額給付金の支給時期及び手続き並びに詐欺等への対応

＜意見の概要＞

1 一過性ではなく、恒久的な経済対策が必要と考えるが、定額給付金を待つ市民もあり、給付手続きについては、反対するものではない。

＜意見の概要＞

2 定額給付金は一度限りで金額も低く、経済対策としての効果は期待できないと考えるが、国会での決定事項であり、各市町村で異なる状況を起こすべきではないことを勘案し賛成する。

＜意見の概要＞

環境施策を推進していく上で市民との情報共有の必要性からすによる深刻なご被害に対する本市の対応

＜意見の概要＞

私立保育所の新設予定及び保育所持機児解消のめど

＜意見の概要＞

私立幼稚園も含めた就学前の子どもの居場所及び今後の保育制度のあり方

＜意見の概要＞

府補助金が減額されている中で、街かどテイハウスの存続に向けた取り組み

＜意見の概要＞

一般会計補正予算中所管分

＜意見の概要＞

一般会計補正予算中所管分

建設

手数料条例の一部改正

(全員賛成で承認)

＜主な質疑項目＞

太陽光発電の導入など、環境面を重視した長期優良住宅の促進

既存長期優良住宅の把握と税制上の特例措置適用の見直し

＜意見の概要＞

既存物件にも長期優良住宅に適合している住宅があると思うので、その現状把握等も含め、今後、本市としてより推進する取り組みを進められたい。

＜意見の概要＞

花とみどりの情報センターの指定管理者の指定

＜意見の概要＞

指定管理者候補者変更後の選考委員会委員への対応と今後の選考基準

＜意見の概要＞

委託料減額に向けた指定管理者候補者との交渉の実施

＜意見の概要＞

環境施策を推進していく上で市民との情報共有の必要性からすによる深刻なご被害に対する本市の対応

＜意見の概要＞

私立保育所の新設予定及び保育所持機児解消のめど

＜意見の概要＞

私立幼稚園も含めた就学前の子どもの居場所及び今後の保育制度のあり方

＜意見の概要＞

府補助金が減額されている中で、街かどテイハウスの存続に向けた取り組み

＜意見の概要＞

一般会計補正予算中所管分

＜意見の概要＞

一般会計補正予算中所管分

一般会計補正予算中所管分

＜意見の概要＞

東部拠点の基盤整備事業において、保留地処分が予定どおり進まない場合の市の負担

＜意見の概要＞

0系新幹線展示によるにぎわいの創出と展示に係る費用との費用対効果

＜意見の概要＞

街角防災ふれあい広場整備事業の年次計画と住民との協議に基づいた整備

＜意見の概要＞

関大前駅舎交通バリアフリー化整備補助事業の内容及び事業費の負担割合

＜意見の概要＞

安威川ダム建設の進捗よく状況と建設による本市の利益

＜意見の概要＞

1 東部拠点への鉄道車両の設置は、長年にわたる本市とJRの深い信頼関係により進んだと認識しており、さらに今後新たな信頼関係を構築し、多くの市民が交流できるにぎわいのあるまちづくりを努められたい。

＜意見の概要＞

2 災害危険度判定調査における計画の見直しの中で、こども笑顔輝き基金の用途条件を検討するよう要望する。

＜意見の概要＞

2 からす対策については、現状をそのまま放置すれば地域コミュニティの崩壊にもつながりかねないことを十分認識し、取り組まれない。

＜意見の概要＞

3 住宅改造成績について、その範囲や限度額を拡充するなど、利用者にとって使い勝手の手よい制度となるよう改められたい。

＜意見の概要＞

高齢者や重度障がい者に対する住宅改造成績の縮小など、市民生活に直結する事業が削られており、認められたい。

＜意見の概要＞

一般会計補正予算中所管分



災害時にかまどとして使用できるベンチ(いずみ南公園)

＜主な質疑項目＞

雨水レヘルアップ整備事業川面処理区の浸水対策の効果

環境や教育施策と連携した戦略的な雨水貯留タンク普及促進事業の推進

＜意見の概要＞

1 雨水貯留タンクとコンボスターとのセットでの普及など関係部と共同で促進されたい。

＜意見の概要＞

2 下水処理場の整備事業など、今後大型事業がめぐる押しであり、大きな財政負担となる。事業の必要性、緊急性をよく検討し、進められたい。

＜意見の概要＞

自動車駐車場特別会計予算

＜意見の概要＞

分かりやすい自動車駐車場の案内看板の設置

＜意見の概要＞

維持管理経費削減に向けた従事者の適正配置

＜意見の概要＞

JR吹田駅前の大規模改修等にあわせ、早急にJR吹田駅南立体駐車場のあり方や今後の方針を一体的に検討し、時代の流れに合うように進められたい。

＜意見の概要＞

水道事業会計予算

＜意見の概要＞

給水収益の減少理由及びその改善策

＜意見の概要＞

浄水施設耐震化の今後の予定と早期の推進

＜意見の概要＞

鉛製給水管の解消について、道路を掘り返すという共通点に立ち、道路管理者



環境拠点施設に改組される資源リサイクルセンター



JR吹田駅南立体駐車場